

CS1942/CS1944

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS1942/CS1944 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2013 年 3 月 7 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	4
RoHS.....	4
SJ/T 11364-2006	5
安全にお使い頂くために.....	6
全般	6
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要	11
特長	13
システム要件.....	14
コンソール.....	14
コンピューター	14
ケーブル	14
OS.....	15
製品各部名称	16
CS1942 フロントパネル	16
CS1944 フロントパネル	16
CS1942/CS1944 リアパネル	19
CS1944 サイドパネル	19
第2章 セットアップ方法.....	21
ケーブルの接続方法.....	21
接続図	23
第3章 基本操作.....	24
手動切替.....	24
ホットプラグ	25
電源 OFF と再起動	25

ポート ID の割り当て	25
第 4 章 キーボードによるポート操作.....	26
ポート切替.....	26
ポート切替(循環切替)	26
ポート切替(ダイレクト切替)	27
オートスキャン.....	28
ホットキーセッティングモード	29
ホットキーセッティングモードの起動	29
ホットキーセッティングモードの代替起動キー.....	30
ポート切替の代替キー	30
キーボード操作プラットフォーム	31
切替設定の一覧表示.....	31
USB リセット.....	32
ホットキービープ音	32
ポート切替キーの無効化	32
ファームウェアアップグレードモード	33
デフォルト設定の復元.....	33
ビデオダイナシンク.....	33
キーボードエミュレーション	34
マウスエミュレーションコントロール	34
マウスによるポート切替.....	34
電源探知機能	35
USB クイック充電.....	35
SPC モード.....	35
ホットキーセッティングモード一覧表	36
第 5 章 キーボードエミュレーション	38
Mac キーボード.....	38
第 6 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ.....	40
作業を始める前に	40
アップグレードの開始.....	41
アップグレード成功.....	43
アップグレード失敗.....	43
付録.....	44
製品仕様.....	44
トラブルシューティング	46
概要	46

工場出荷時におけるデフォルト設定	48
------------------------	----

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 本製品には電源アダプターが同梱されています。電源コンセントの形状が異なり電源アダプターを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS1942/CS1944 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS1942/CS1944 2/4 ポート USB2.0 Mini DisplayPort デュアルディスプレイ対応 KVM スイッチ ×1
- ◆ Mini DisplayPort 1.1a 1mケーブル(CS1942) ×2
- ◆ Mini DisplayPort 1.1a 2mケーブル(CS1942) ×2
- ◆ USB2.0 1.8mケーブル(CS1942) ×2
- オーディオジャック1.8mケーブルセット(CS1942) ×2
- Mini DisplayPort 1.1a 1mケーブル(CS1944) ×4
- Mini DisplayPort 1.1a 2mケーブル(CS1944) ×4
- USB2.0 1.8mケーブル(CS1944) ×4
- オーディオジャック1.8mケーブルセット(CS1944) ×4
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CS1942/CS1944に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:** CS1942/CS1944 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部分名
称について説明します。
- 第2章 セットアップ:** CS1942/CS1944 のハードウェアセットアップの手順について図を使用しな
がら説明します。
- 第3章 基本操作:** CS1942/CS1944 の機能概要および操作方法について説明します。
- 第4章 キーボードによるポート操作:** CS1942/CS1944 のホットキー操作に関する機能概要、お
よび操作手順について説明します。
- 第5章 キーボードエミュレーション:** PC 互換キーボードから Mac キーボードへのエミュレーショ
ンマッピング表を掲載しています。
- 第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:** お使いの CS1942/CS1944 のファームウェ
アを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

CS1942/CS1944 2/4 ポート USB2.0 Mini DisplayPort デュアルディスプレイ対応 KVM スイッチは、1 組の USB キーボードとマウスから 2 または 4 台のコンピューターを素早く切り替えることができます。また、このデュアルディスプレイ対応 2/4 ポートスイッチに 2 ポート USB ハブ機能とフロントパネルの USB クイック充電機能も搭載されています。

CS1942/CS1944 の最新設計では、Mini DisplayPort および Mini TOSLINK コネクターの性能を強化し、デジタルオーディオと超高解像度対応映像、鮮明な画質、および SPDIF コネクターを使用した優れたサラウンドサウンド機能を備えています。

CS1942/CS1944 の個別切替機能を使用すれば、あるコンピューターで KVM 操作をしながら、別のコンピューターの USB デバイスやオーディオを使用することができます。また、USB ハブとして、各コンピューターが接続デバイスに1度につき 1 台のベースでアクセスすることができるため、別途 USB ハブを購入する必要がなくなります。キーボードとマウスのデータ全ては専用 KVM ケーブルを通じて素早く伝送されるため、シームレスなレスポンスを得ることができます。更に、ホットキー機能は、多機能ゲーミングキーボードおよびマウスに完全対応しています。

CS1942/CS1944 のセットアップは、ケーブルを適切なポートに接続するだけなので、とても簡単に、すぐご使用いただけます。設定のためのソフトウェアも不要であるため、セットアップや相性問題に悩まされることはありません。また、CS1942/CS1944 はキーボード信号が直接入力されるように設計されているため、Windows、Linux および Mac を使用したマルチ OS 環境でもご使用いただけます。

CS1942/CS1944 に接続されたディスプレイと USB デバイス全てから、見たいソースを選択するには、1) フロントタッチパネルを使用する、2) ホットキーを使用する、3) マウスのスクロールホイールをダブルクリックする、という 3 通りのポート切替方法からお選びいただけます。

CS1942/CS1944 はユニークなデザインと革新的な機能を備えているため、SOHO 環境において、スタイルと高機能性をご提供することができます。また、CS1942/CS1944 はマルチメディア用途、ゲーミングセットアップやマルチコンピューターオフィス環境に最適で、究極の省スペースで、

能率的な KVM テクノロジーをデスクトップ環境にご提供いたします。

特長

- ◆ 1組のデュアルディスプレイ対応 USB コンソールから2または4台の Mini DisplayPort 搭載コンピューターと2台の USB デバイスを個別または同時切替が可能
- ◆ 2ポート USB2.0 ハブ搭載、USB2.0 規格準拠
- ◆ コンピューターの選択方法 - フロントタッチパネル、ホットキー、マウスホイール*
- ◆ Mini DisplayPort 1.1a および HDCP 準拠
- ◆ フルベースレスポンスで Mini-TOSLINK 接続経由の HD デジタルサラウンド体験が可能
- ◆ 解像度 - 最大 2,650×1,600、3D 対応、最大 1,920×1,080@120Hz
- ◆ Nvidia 3D Vision 対応
- ◆ USB クイック充電機能(フロントパネルの USB ポート)
- ◆ USB デバイス、オーディオ、KVM 操作は個別切替が可能
- ◆ キーボードとマウスはエミュレーションとバイパスの両方に対応
- ◆ オートスキャン機能
- ◆ 電源探知機能
- ◆ Mac キーボードおよびエミュレーション対応**
- ◆ 多言語キーボードマッピング - 日本語、英語、フランス語キーボードに対応
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows、Linux および Mac
- ◆ USB インターフェース経由のファームウェアアップグレード対応

*マウスによるポート切替は、エミュレーションモードで3ボタン USB マウスホイールを使用した場合にのみ有効となります。

** PC 互換キーボードから Mac キーボードへのエミュレーションに対応しており、Mac キーボードは Mac でのみ使用可能です。

システム要件

コンソール

- ◆ Mini DisplayPort(mDP)対応モニターまたはMini DisplayPortアダプターを使用したDisplayPort
モニター ×2
- ◆ USBマウス ×1
- ◆ USBキーボード ×1
- ◆ マイクロフォンおよびスピーカー

コンピューター

- ◆ Mini DisplayPort (Mini DisplayPortアダプターを使用したDisplayPort)
- ◆ USBタイプAポート
- ◆ オーディオポート(オプション)

ケーブル

CS1942

- ◆ 本製品に同梱の Mini DisplayPort 1.1a 1m ケーブル×2
- ◆ 本製品に同梱の Mini DisplayPort 1.1a 2m ケーブル×2
- ◆ 本製品に同梱の USB2.0 1.8m ケーブル×2
- ◆ 本製品に同梱のオーディオジャック 1.8m ケーブル×2

CS1944

- ◆ 本製品に同梱の Mini DisplayPort 1.1a 1m ケーブル×4
- ◆ 本製品に同梱の Mini DisplayPort 1.1a 2m ケーブル×4
- ◆ 本製品に同梱の USB2.0 1.8m ケーブル×4
- ◆ 本製品に同梱のオーディオジャック 1.8m ケーブル×4

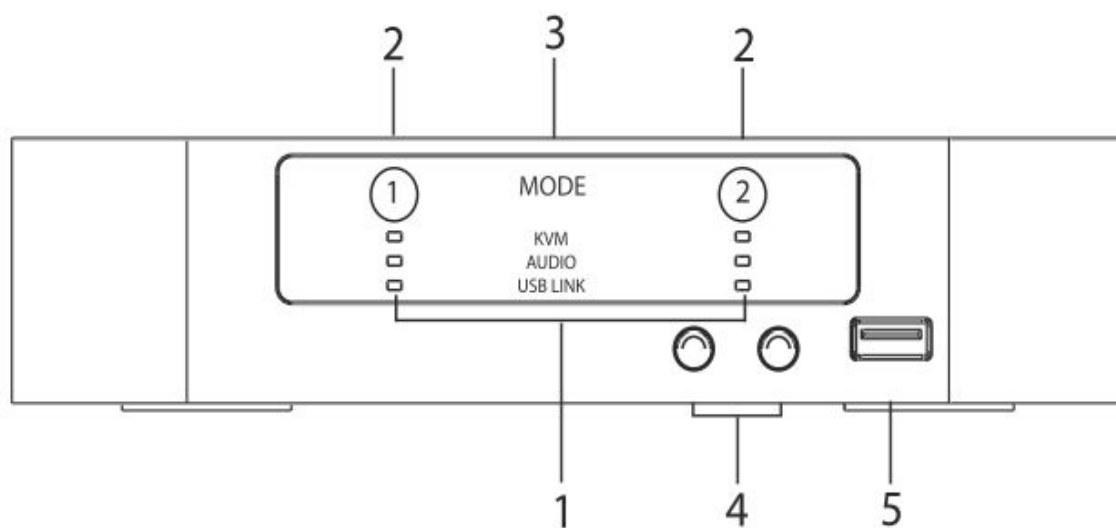
OS

本製品の対応 OS は下表の通りです。

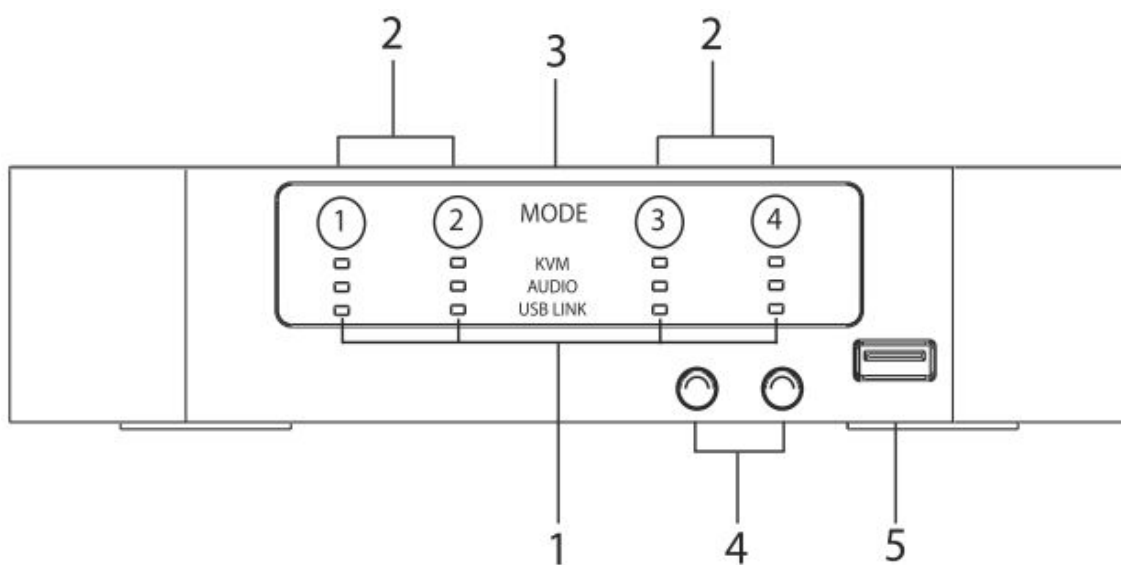
OS		バージョン
Windows		2000 SP4 以降、XP、2003、2008、Vista (x64、x86)、 Windows 7 (x64、x86)
Linux	RedHat	Fedora 以降、RHEL AS4、RHEL5
	SuSE	10 以降、OpenSUSE 10.2、SLES 10 SP1
	Debian	3.1、4.0
	Unbuntu	7.04、7.10
UNIX	FreeBSD	5.5、6.1、6.2
Novell	Netware	6.0、6.5
Mac		9.0、9.1、10.1、10.2、10.3、10.4、10.5

製品各部名称

CS1942 フロントパネル



CS1944 フロントパネル

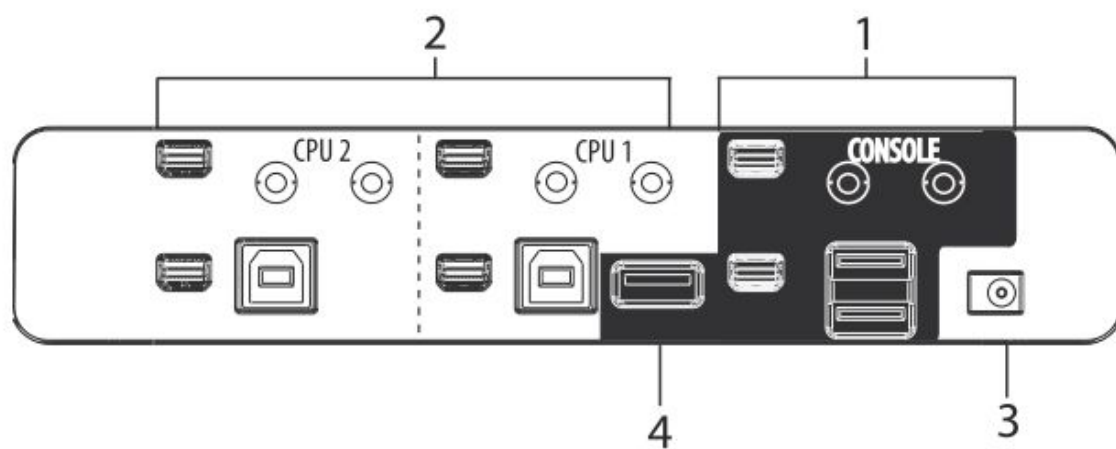


No.	名称	説明
1	LED ステータス パネル	<p>このパネルには点灯してモードとポートの状態を示す LED アイコンがあります。モードとポート選択タッチパネルにはオーディオ、KVMおよびUSBの状態を示す LED アイコンが 3 つあります。</p> <p>KVM</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ LED が暗いオレンジ色に点灯: デバイスは本製品に接続されていますが、このポートは現在選択されていません。 ◆ LED が明るいオレンジ色に点灯: このポートの KVM (キーボード、モニターおよびマウス) が選択され、使用できます。 <p>AUDIO</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ LED がグリーンに点灯: このポートのオーディオが選択され、使用できます。 <p>USB リンク</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ LED がグリーンに点灯: このポートの USB デバイスが選択され、使用できます。
2	ポート選択 タッチパネル	<p>手動でのポート切替 (詳細は p.24「手動切替」参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コンピューターの KVM 操作、オーディオおよびUSB リンクの全てを切り替えるには、 <ul style="list-style-type: none"> a) そのコンピューターに対応するポートのポート選択タッチパネルを押してください。または、 b) モードボタンを 1 回押した後 (モードタッチパネルのアイコンが点滅)、次にそのコンピューターに対応するポートのポート選択タッチパネル (1、2、3、4) を押してください。 3 つのポートアイコン全てが点灯します。 ◆ コンピューターの KVM 操作のみを切り替えるには、モードタッチパネルを 2 回押した後 (モードタッチパネルの KVM アイコンが点滅)、そのコンピューターに対応するポートのポート選択タッチパネルを押してください。そのポートの KVM アイコンが点灯します。 ◆ コンピューターのオーディオのみを切り替えるには、モードタッチパネルを 3 回押した後 (モードタッチパネルのオーディオアイコンが点滅)、そのコンピューターに対応するポートのポート選択タッチパネルを押してください。そのポートのオーディオアイコンが点灯します。

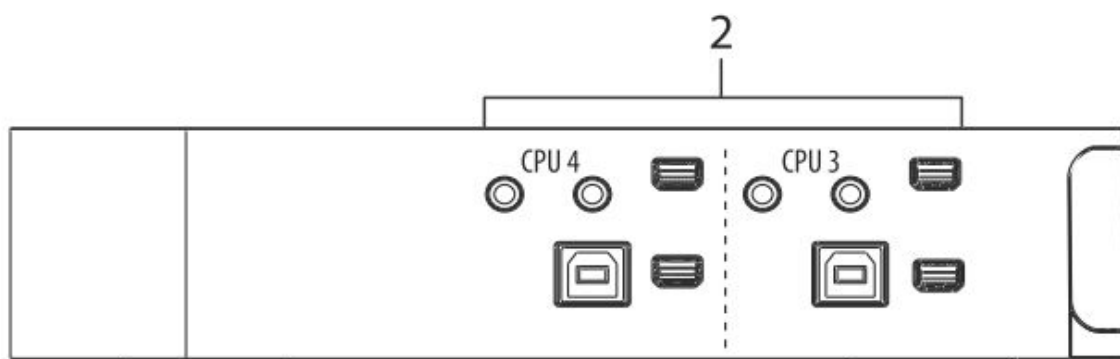
(表は次ページに続きます。)

No.	名称	説明
2	ポート選択 タッチパネル (前ページからの 続き)	<p>◆ コンピューターの USB のみを切り替えるには、モードタッチパネルを 4 回 押してから(モードタッチパネルの USB アイコンが点滅)、そのコンピューターに対応するポート選択タッチパネルを押してください。そのポートの USB アイコンが点灯します。</p> <p>◆ ポート選択タッチパネルの1と2を同時に2秒間押すと、オートスキャンモードが開始されます(詳細は p.28「オートスキャン」参照)。</p> <p>注意:モードタッチパネルを押してから5秒以内にポートを選択しなかった場合、モードタッチパネルは OFF となります。</p>
3	モード選択 タッチパネル	このタッチパネルで、全て、KVM 操作のみ、オーディオのみ、および USB のみの4つのモードを循環して切り替えます。
4	アナログ オーディオポート	ご使用になるコンソールスピーカーとマイクロフォンをここに接続してください。
5	USB2.0 周辺機器ポート	USB2.0 周辺機器(プリンター、スキャナー等)をこのポートに接続してください。また、このポートは USB クイック充電機能を備えています。

CS1942/CS1944 リアパネル



CS1944 サイドパネル



No.	名称	説明
1	コンソールポート セクション	Mini DisplayPort モニターからのケーブル、USB キーボード、USB マウス、スピーカーおよびマイクのプラグをここに接続します。各コネクタにはどれかを示すアイコンが付いています。
2	KVM ポート セクション	本製品とコンピューターを接続するケーブルをここに接続してください。各 KVM ポートにはマイクロフォンジャック、スピーカージャック、USB タイプ B コネクタポートと Mini DisplayPort コネクタが 2 つあります。
3	電源ジャック	電源アダプターからのケーブルをこのジャックに接続してください。
4	USB2.0 ハブ	USB2.0 周辺機器(プリンター、スキャナー等)をこのポートに接続してください。

第2章 セットアップ方法



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

ケーブルの接続方法

CS1942/CS1944 をセットアップするには、p.23 の接続図(図内における番号は手順に対応)を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. USB キーボードと USB マウスを本製品のリアパネルにある USB コンソールポートに接続してください。
2. コンソールモニターを本製品のリアパネルにある Mini DisplayPort コンソールポートに接続してから、モニターの電源を入れてください。

注意: 接続には、DisplayPort→Mini DisplayPort 変換アダプターが必要なことがあります。

3. 本製品のフロントパネルにあるコンソールマイクロフォンとスピーカージャックにアナログマイクロフォンとヘッドフォンを接続してください。

注意: このパネルに接続されたマイクロフォンとヘッドフォンはリアパネルに接続されたものよりも優先的に使用されます。この接続にはアナログオーディオケーブルが CPU 側に必要となります。

4. 本製品のリアパネルにあるオーディオコンソールポートにアナログ/デジタル(mini-TOSLINK)マイクロフォンとスピーカーを接続してください。

注意: デジタルサウンド用デバイスには別途 Mini-TOSLINK ケーブルが必要となります。

- Mini DisplayPort 1.1aケーブルを使用して本製品のKVMポートセクションにあるMini DisplayPort “A”ソケット(CPU1、CPU2等)にMini DisplayPortコネクタを接続してから、付属のUSB2.0ケーブルとマイクロフォン/スピーカーケーブルをそれぞれ対応するソケットに接続してください。

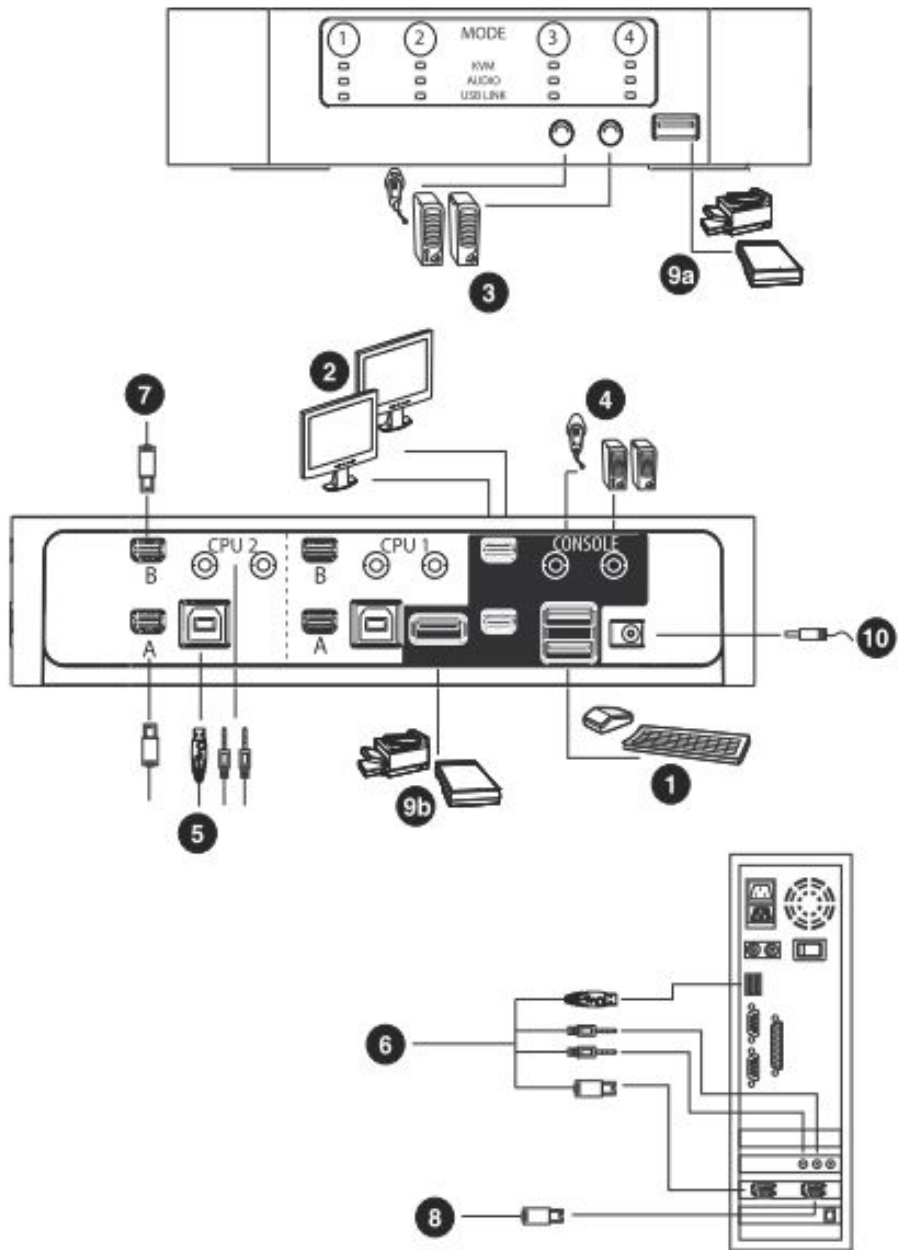
注意: 全てのプラグが同じKVMポートソケット(全てCPU 1、全てCPU 2、等)に接続されていることを確認してください。各ソケットには対応するアイコンが付いています。

- 手順5で使用したMini DisplayPort 1.1aケーブルのもう一端にあるMini DisplayPort 1.1aコネクタ、USB2.0コネクタ、およびマイクロフォン/スピーカージャックをそれぞれコンピューターの対応するポートに接続してください。
- 別のMini DisplayPort 1.1aケーブルを使用して、本製品の同じKVMポートセクション(CPU1、CPU 2、等)にあるMini Display Portソケット”B”にMini Display Portケーブルのコネクタを接続してください。
- 手順7で使用したMini DisplayPort 1.1aケーブルをコンピューターの対応するポートに接続してください。

注意: セットアップするデュアルディスプレイのPCシステムそれぞれに手順5、6、7、8を繰り返してください。

- USB周辺機器を本製品のフロントまたはリアパネルにあるUSB周辺機器ポートに接続してください(オプション)。
- 本製品に同梱されている電源アダプターをAC電源コンセントに接続してから、電源アダプターのケーブルを本製品の電源ジャックに接続してください。
- コンピューターの電源を入れてください。

接続図



第3章

基本操作

手動切替

コンピューターにアクセスするには、本製品のフロントパネルにあるポートモード選択タッチパネルを押す「手動切替」、「マウスによるポート切替」、およびキーボードのキーを組み合わせる「ホットキー」の3通りの便利な方法をご用意しています。ホットキーによるポート切替、およびマウスによるポート切替については、次章で説明します。

手動でのポート切替は下記の通りです。

- ◆ 全て(オーディオ、KVM操作およびUSB)を他のコンピューターに切り替える場合、a)そのコンピューターに対応するポート選択タッチパネルを押す。または、b)モードタッチパネルを**1回**押した後(モードタッチパネルの3つのアイコンが点滅)、そのコンピューターに対応するポート選択タッチパネルを押してください。3つのポートアイコン全てが点灯します。
- ◆ **KVM操作のみ**を他のコンピューターに切り替える場合、モードタッチパネルを**2回**押してください(モードタッチパネルのKVMアイコンが点滅します)。それから対応するコンピューターのポート選択タッチパネルを押してください。そのポートのKVMアイコンが点灯します。
- ◆ **オーディオのみ**を他のコンピューターに切り替える場合、モードタッチパネルを**3回**押してください(モードタッチパネルのオーディオアイコンが点滅します)。それから対応するコンピューターのポート選択タッチパネルを押してください。そのポートのオーディオアイコンが点灯します。
- ◆ **USBハブのみ**を他のコンピューターに切り替える場合、モードタッチパネルを**4回**押してください(モードタッチパネルのUSBアイコンが点滅します)。それから対応するコンピューターのポート選択タッチパネルを押してください。そのポートのUSBアイコンが点灯します。

-
- 注意:**
1. オートスキャンモード(p.28「オートスキャン」参照)を中止するには、いずれかのポート選択タッチパネルを押して離してください。押したタッチパネルに対応するポートに接続されたコンピューターで KVM 操作ができるようになります。
 2. モードタッチパネルを押してから5秒以内にポートが選択されなかった場合、モードタッチパネルは OFF になります。
-

ホットプラグ

CS1942/CS1944 は USB ホットプラグに対応しているので、機器の電源を切ることなく、USB ハブポートからケーブルを外すことによって、機器を取り外したり、追加したりすることができます。

電源 OFF と再起動

本製品の電源を切る必要がある場合は、再び電源を入れる前に下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 本製品に接続されたコンピューターをすべてシャットダウンしてください。
2. 本製品に接続された電源アダプターを外してください。
3. 10 秒ほど経過したら、手順 2 で取り外した電源アダプターを再度、接続してください。
4. 本製品が起動したら、接続されているコンピューターの電源を入れてください。

ポート ID の割り当て

CS1942/CS1944 の各 KVM ポートには、ポートナンバー (CS1942 は 1 と 2、CS1944 は 1、2、3、4) が割り当てられています。これらのポートナンバーは本体のリアパネルとサイドパネルに記載されています (詳細は p.19 「CS1942/CS1944 リアパネル」を参照)。

コンピューターのポート ID は、これが接続されている KVM ポートナンバーに基づいて決まります。例えば、KVM ポート 2 に接続されているコンピューターには、2 番のポート ID が割り当てられています。

このポート ID は、ホットキーでポート選択を行う際に、KVM、USB 周辺機器やオーディオの操作ができるようになるコンピューターを指定するために使用します (詳細は p.27 「ポート切替 (ダイレクト切替)」を参照)。

第4章

キーボードによるポート操作

CS1942/CS1944 は、KVM スイッチの操作や設定をキーボードから行うことができる、使いやすいホットキー機能を提供しています。ホットキーで KVM 操作、USB ハブ、オーディオを個別に切り替えることもできます。例えば、1 台目のコンピューターの KVM 操作をし、2 台目のコンピューターで USB 周辺機器を使用し、残りの 2 台のコンピューターではオーディオを使用するということができます。

ポート切替

各ポート切替は、いずれも[Scroll Lock]キーを 2 回押して開始します。下表では、各ホットキーで実行できるアクションについて説明します。

注意: [Scroll Lock]キーの使用が他のプログラムの動作と競合する場合は、このキーの代わりに[Ctrl]キーがお使いいただけます。詳細は p.30 「ポート切替の代替キー」をご参照ください。

ポート切替(循環切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM 操作、USB ハブおよびオーディオを現在のポートから順に次のポートへと切り替えます。(CS1942: 1→2→1、CS1944: 1→2→3→4→1)
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM 操作を現在のポートから次のポートへと切り替えます。USB ハブとオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブを現在のポートから次のポートへと切り替えます。KVM 操作とオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオを現在のポートから次のポートへと切り替えます。KVM 操作と USB ハブは現在のポートのままです。

ポート切替(ダイレクト切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM 操作、USB ハブおよびオーディオを直接指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM 操作を指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。USB ハブ及びオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。KVM 操作及びオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。KVM 操作及び USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM 操作と USB ハブを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。オーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM 操作とオーディオを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブとオーディオを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。KVM 操作は現在のポートのままです。

注意: 表中の **n** はコンピューターのポート ID を表します (1、2、3、または 4)。詳細については p.25 「ポート ID の割り当て」をご参照ください。また、ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の **n** の部分に切替対象となるポート ID を適宜入力してください。

オートスキャン

CS1942/CS1944 のオートスキャン機能は、一定の時間間隔で自動的にポートを切り替えて表示する機能です。この機能によって、手動でポートの切替操作をせずに、KVM スイッチに接続された全てのコンピューターの状態を監視することができます。詳細は下表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が 5 秒間隔 で切り替わります。デフォルト設定はこの 5 秒間隔となっています。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	ポートの選択が n 秒間隔で切り替わります。

- 注意:**
1. **n** は CS1942/CS1944 が次のポートへと切り替わるまでの秒数を表しています。ホットキーを入力する際には、1~99 までの数字を **n** の部分に入力してください。
 2. オートスキャンモードが有効になっている間は、通常のキーボード/マウス操作はできません。オートスキャンモードに対応したキー入力とマウスクリックのみが使用できます。通常のコソール操作を行うには、オートスキャンモードを中止してください。
 3. コンピューターのビデオ出力画面はポートからポートへと切り替わりますが、キーボードとマウスの操作及び USB 周辺機器は切り替わらず、オートスキャンを開始したポートに留まったままの状態となっています。
 4. オートスキャンモードを中止するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

ホットキーセッティングモード

ホットキーセッティングモードは、CS1942/CS1944 の設定を行う際に使用します。各操作を行う前には、必ずこのホットキーセッティングモードを起動します。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードを起動するには、下記の手順に従ってください。

1. [Num Lock]キーを押したままにしてください。
2. [-]キー(マイナスキー)を押して指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。

注意: ホットキーセッティングモードは別のキー操作でも起動することができます。詳細は下記をご参照ください。

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock と Scroll Lock の各 LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると、LED は通常の状態に戻ります。

また、ホットキーセッティングモード中は、通常のキー入力やマウスの操作が無効となります。ホットキーセッティングモードで有効なキーボード入力、マウスクリックのみが操作可能となります(次章で説明します)。

ホットキーセッティングモードは、コマンドを入力後に自動的に解除されるものと、手動で解除するものがあります。手動でホットキーセッティングモードを解除する場合は、[Esc]キーかスペースキーを入力してください。

ホットキーセッティングモードの代替起動キー

デフォルトのホットキーセッティングモードの起動キーがコンピューター上で動作しているプログラムと競合した場合に備え、このキーの代替起動キーが提供されています。

ホットキーセッティングモードの代替キーに切り替える場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [H]キーを押して指を離してください。
ホットキーセッティングモードの起動キーが[Num Lock]から[Ctrl]、[-]から+[F12]に変更されます。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元のホットキーセッティングモード起動キーに戻す場合は、もう一度ホットキーセッティングモードを起動して[H]キーを押してください。

ポート切替の代替キー

ポート切替の起動キーは[Scroll Lock]キーの2度押し([Scroll Lock] [Scroll Lock])から、[Ctrl]キーの2度押し([Ctrl] [Ctrl])に変更することができます。ポート切替の起動キーを変更する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [T]キーを押して指を離してください。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元の[Scroll Lock]キーの2度押しに戻す場合は、もう一度ホットキーセッティングモードを起動して[T]キーを押してください。

キーボード操作プラットフォーム

CS1942/CS1944 のデフォルトポート設定では、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定されています。例えば、お使いのコンソールで PC 互換のキーボードを使用し、ポートには Mac のコンピューターを接続している場合、このポートのキーボード操作プラットフォームの設定を変更し、PC 互換キーボードで Mac キーボードをエミュレーションすることもできます。操作手順は下記の通りです。

1. プラットフォームの設定対象となるポートで KVM 操作をしてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
3. 適切なファンクションキーを押して指を離してください(下表参照)。この操作を終えると、ホットキーセッティングモードを自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。詳細は p.38 「Mac キーボード」をご参照ください。
[F6] [nn] [Enter]	キーボード言語のレイアウトを設定します。「nn」は 2 桁の数字で、キーボード言語コードを表しています。 日本語:15 アメリカ英語:33 フランス語:08
[F10]	(PC 互換システムの場合)キーボード OS を自動検知します。キーボードエミュレーションを無効にし、パススルーキーボードモードを有効にします(キー入力はエミュレーションされずにそのまま直接コンピューターに伝送されます)。

切替設定の一覧表示

現在の切替設定一覧を確認するには、下記の手順に従ってください。

1. テキストエディターかワープロソフトを開いて、ページ画面にカーソルを置いてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
3. [F4]キーを押して指を離し、設定を表示してください。

USB リセット

USB が認識されなくなり、リセットが必要になった場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [F5]キーを押して指を離してください。

ホットキービープ音

ホットキーでビープ音を有効または無効にすることができます。ビープ音の有効/無効を設定するには下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [B]キーを押して指を離してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。

ポート切替キーの無効化

ポート切替キー([Scroll Lock] [Scroll Lock] / [Ctrl] [Ctrl])を無効にするには下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [X] [Enter]キーを押してください。

注意: この操作は有効と無効を交互に切り替えます。ポート切替キーを有効にするには、手順 1 と 2 を繰り返してください。

ファームウェアアップグレードモード

CS1942/CS1944 のファームウェアアップグレードモードを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. 「upgrade」という文字を入力してください。
3. **[Enter]**キーを押してください。フロントパネルのLEDランプが点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

注意: ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、製品本体の電源を切る必要があります。本製品のファームウェアアップグレードに関する詳細は、p.40 「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照してください。

デフォルト設定の復元

CS1942/CS1944 をリセットし、デフォルトのホットキー設定に戻す場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. **[R] [Enter]**キーを押してください。

ホットキーの設定全てがデフォルト設定に戻ります。

ビデオダイナシンク

ビデオダイナシンク機能を起動して、CS1942/CS1944 がコンソールモニターの EDID を保存し、解像度を最適化させる場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. **[D]**キーを押してください。

キーボードエミュレーション

キーボードエミュレーションを有効/無効に設定するには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [N]キーを押してください。

マウスエミュレーションコントロール

マウスエミュレーションを有効/無効に設定するには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [M]キーを押してください。

マウスによるポート切替

マウスによるポート切替では、マウスのスクロールボタンを 2 回クリックすることでポートを切り替えることができます。マウスによるポート切替を行うには、マウスエミュレーションを有効にしなければなりません。マウスによるポート切替を有効/無効に設定するには、下記手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [W]キーを押してください。

電源探知機能

電源探知機能を使用すれば、あるビデオソースの電源が OFF になった際に、CS1942/CS1944 が自動的に次の電源が ON になっているポートへ切り替えることができます。この電源探知機能を有効/無効に設定するには、下記手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [E]キーを押してください。

USB クイック充電

この機能では、フロントパネルの USB 機能をデータリンクモードからクイック充電モードに切り替えます。データリンクモードとクイック充電モードを交互に切り替えるには、下記手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [L]キーを押してください。

注意： デフォルト設定では、USB データリンクモードは 500mA 電源に対応し、クイック充電モードは最大 1.4A の電源供給に対応しています。

SPC モード

キーボードとマウスが標準(104 キー)キーボードとマウスとして特殊な OS でも動作するようにするために、SPC モードを使用するように設定するには、下記手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.29 参照)。
2. [F1]キーを押してください。

ホットキーセッティングモード一覧表

ホットキーセッティングモード(p.29 参照)を起動した後、下記のキーのいずれかを入力して、そのキーに対応した機能を実行してください。









ホットキー	機能
[B]	ビープ音を有効/無効にします。
[D]	ビデオダイナミック機能を起動します。これはコンソールモニターのEDIDを保存し、解像度を最適化するものです。
[E]	電源探知機能を有効または無効にします。
[H]	ホットキーセッティングモードの起動キーを、デフォルトと代替で交互に切り替えます。
[L]	フロントパネルの USB 機能をデータリンクモードからクイック充電モードに切り替えます。
[M]	マウスエミュレーションを有効/無効にします。
[N]	キーボードエミュレーションを有効/無効にします。
[T]	ポート切替キーを、デフォルトと代替で交互に切り替えます。
[W]	マウスによるポート切替を有効/無効にします。有効の場合、マウスのスクロールホイールを 2 回クリックするとポートを切り替えます。マウスエミュレーションは必ず有効にしてください。
[R] [Enter]	ホットキーの設定をデフォルト値にリセットします。
[X] [Enter]	ポート切替キーを有効/無効にします。
[u][p][g][r][a][d][e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。
[F1]	キーボードとマウスが標準(104 キー)キーボードとマウスとして特殊な OS でも動作するようにするために、SPC モードを使用するように設定します。
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。
[F4]	テキストエディターまたはワープロソフトのペースト機能を使用して、現在の切替設定を一覧表示します。
[F5]	USB キーボードとマウスのリセットを実行します。

ホットキー	機能
[F6] [nn] [Enter]	<p>キーボード言語のレイアウトを設定します。「nn」は2桁の数字で、キーボード言語コードを表しています。</p> <p>日本語:15 アメリカ英語:33 フランス語:08</p>
[F10]	<p>キーボード操作 OS を自動検知し、パススルーキーボードモードを有効にします (p.31 「キーボード操作プラットフォーム参照」)。</p>

第5章 キーボードエミュレーション

Mac キーボード

キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

第6章

ファームウェアアップグレードユーティリティ

CS1942/CS1944 のファームウェアのアップグレードを自動化するために、ファームウェアアップグレードユーティリティ (FWUpgrade.exe) と呼ばれる Windows ベースの専用ツールを提供しています。

このツールは各デバイスのファームウェアアップグレードパッケージに含まれています。新しいファームウェアが利用できるようになると、弊社ウェブサイト <http://www.atenjapan.jp/> にリリースされます。弊社ウェブサイト定期的にアクセスいただき、本製品の最新ファームウェアパッケージと関連情報を入手してください。

作業を始める前に

ファームウェアをアップグレードさせる前に、以下を行ってください。

1. 製品に接続されていないコンピューターから ATEN のインターネットサポートサイトにアクセスし、お使いのデバイス (CS1942/CS1944) の型番をリストから選択して、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージの一覧を表示してください。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ (通常は最新版) を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. 本製品に同梱の USB ケーブルを使用して、本製品のポート 1 の USB ポートとこのファームウェアをダウンロードしたコンピューターの USB ポートを接続してください。
4. 本製品に接続された (ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードするために使用するコンピューター以外の) 全てのコンピューターをシャットダウンしてください。
5. ファームウェアアップグレードモードを有効にしてください (p.33 「ファームウェアアップグレードモード」参照)。

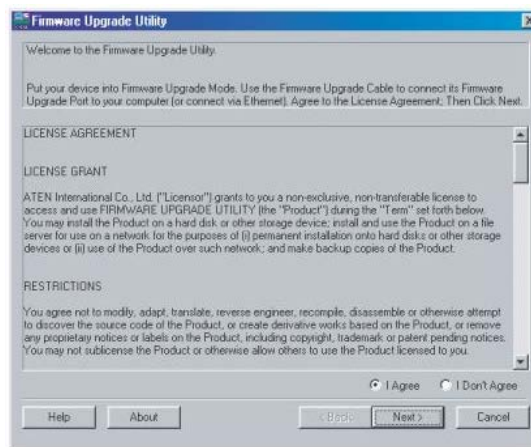
フロントパネルの LED が点滅してファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

アップグレードの開始

ファームウェアをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

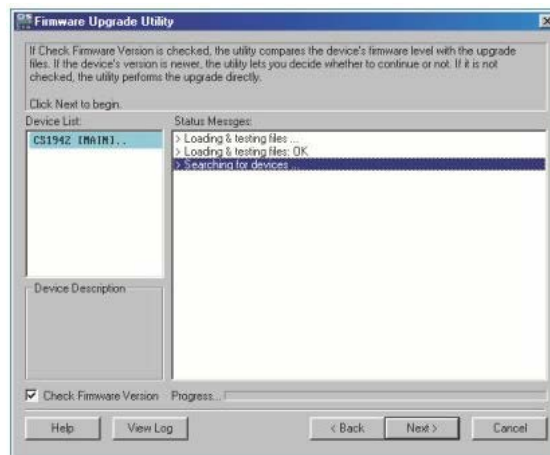
1. ダウンロード済のファームウェアアップグレードパッケージファイルのアイコンをダブルクリックするか、このファイルのフルパスをコマンドラインで指定するかして、パッケージを実行してください。

「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。



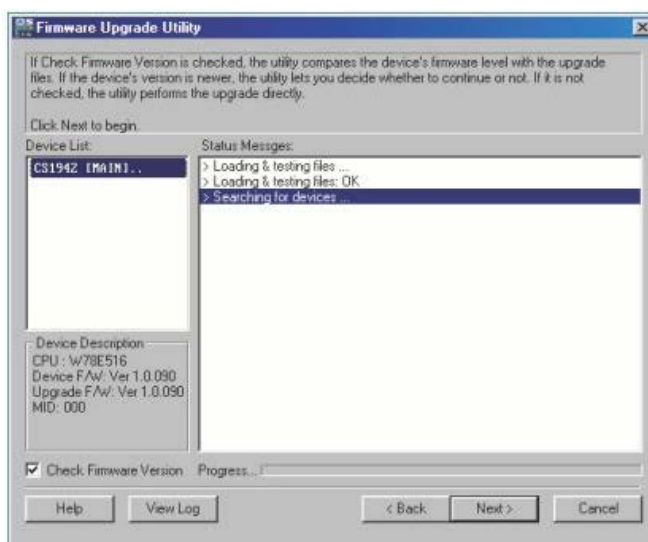
注意： 本章で使用している画面表示は参考用です。実際のファームウェアアップグレードユーティリティの画面の文言やレイアウトはこの例と多少異なることがあります。

2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。
3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。

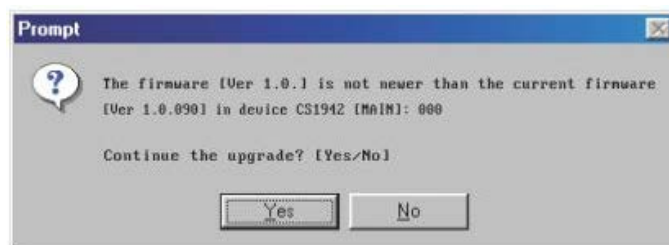


このユーティリティーはお使いのシステム構成を自動的に検出し、このパッケージでアップグレードできる全デバイスを「Device List」パネルに一覧表示します。

4. リストの中からデバイスを選択すると、「Device Description panel」にその説明が表示されます。



5. デバイスを選択したら、「Next」をクリックして、アップグレードを実行してください。



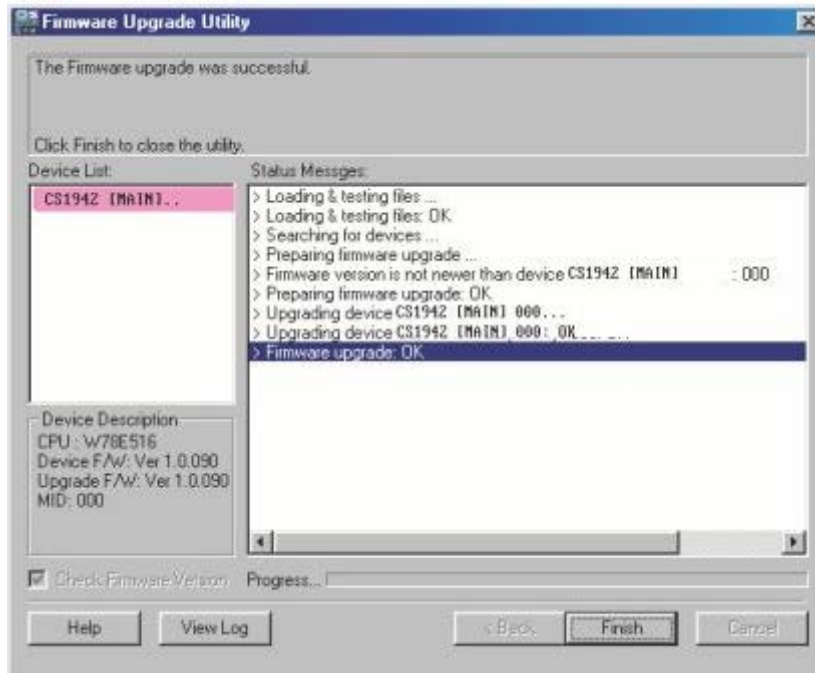
「Check Firmware Version」の項目を有効にすると、ユーティリティーはデバイスとアップグレードファイルの間でファームウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合は、操作を続行するかキャンセルするかの選択を促すダイアログが表示されます。

「Check Firmware Version」の項目を有効にしなかった場合、ユーティリティーはバージョンの比較を行わずにアップグレードファイルのインストールを行います。

アップグレードの進行中は、「Status Messages Panel」にステータスメッセージが表示され、「プログレスバー」に処理の進捗状況が表示されます。

アップグレード成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面が表示されて処理が成功したことを表します。



「Finish」ボタンをクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

操作が成功すると、本製品はファームウェアアップグレードモードを終了して、リセットを行います。

アップグレード失敗

「Upgrade Succeeded」画面が表示されない場合、アップグレードが失敗したことを表します。その場合は、下記の手順に従ってください。

1. CS1942/CS1944 から全ての USB ケーブルと電源アダプターを外してください。
2. USB2.0 ケーブル 1 本を PC の電源が ON になっている最後の CPU ポートに接続してください。
3. CS1942/CS1944 に電源アダプターを接続してください。電源を再投入したら、本製品のポート LED が点滅します。
4. ファームウェアアップグレードユーティリティをもう一度実行してください。

付録

製品仕様

機能		CS1942	CS1944
コンピューター接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
コンソール側対応 インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
ポート選択方法		タッチパネルスイッチ、ホットキー、マウス	
コンピューター側 コネクタ	キーボード	USB タイプ B メス×2	USB タイプ B メス×4
	マウス		
	モニター	Mini DisplayPort メス×4	Mini DisplayPort メス×8
	スピーカー	ミニ TOSLINK ジャック×2	ミニ TOSLINK ジャック×4
	マイク	ミニ TOSLINK ジャック×2	ミニ TOSLINK ジャック×4
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	Mini DisplayPort メス×2	
	スピーカー	ミニ TOSLINK ジャック×1 3.5mm オーディオジャック×1	
	マイク	ミニ TOSLINK ジャック×1 3.5mm オーディオジャック×1	
スイッチ	ポート選択	ポイントタッチパネル×3	ポイントタッチパネル×5
USB 2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
LED	KVM	オレンジ×2	オレンジ×4
	オーディオ	グリーン×2	グリーン×4
	USB	グリーン×2	グリーン×4
キーボード・マウスエミュレーション		USB	

(表は次ページに続きます。)

機能		CS1942	CS1944
スキャンインターバル		1～99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100～240V 50～60Hz 出力:DC5.3V / 2.4A	
消費電力		DC5.3V、6.68W	DC5.3V、8.63W
解像度		DP : 2560×1600 @ 60Hz または 3D ディスプレイ 1920×1080 @ 120Hz	
動作環境	動作温度	0～50℃	
	保管温度	-20～60℃	
	湿度	0～80%RH、結露なきこと	
ケース材料		プラスチック	
重量		556g	614g
サイズ(W×D×H)		197×197×44.7mm	
同梱品		Mini DisplayPort 1.1a ケーブル(1m)×2 Mini DisplayPort 1.1a ケーブル(2m)×2 USB2.0 ケーブル(1.8m)×2 オーディオジャック ケーブルセット(1.8m)×2 電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1	Mini DisplayPort 1.1a ケーブル(1m)×4 Mini DisplayPort 1.1a ケーブル(2m)×4 USB2.0 ケーブル(1.8m)×4 オーディオジャック ケーブルセット(1.8m)×4 電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1

トラブルシューティング

概要

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず全てのケーブルが各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

また、製品のファームウェアをアップグレードさせることによって以前のバージョンがリリースされてから発見されたり、解決されたりした問題を解決できることがあります。現在お使いのバージョンが最新のものではない場合は、最新版のファームウェアを適用することを推奨します。詳細は、p.40 第6章「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

問題	考えられる原因	解決方法
動作が正常でない	製品への電源供給が十分でない。	電源アダプターを使用していないのであれば、DC5.3Vの電源アダプターを接続してください。既に電源アダプターを使用している場合は、システムの仕様と合致しているかを確認し、それが正しく接続されて機能しているかを確認してください。
	キーボード/マウスのリセットが必要。	コンソールポートからキーボード/マウスのケーブルを抜いてから、接続しなおしてください。
	コンピューターに接続していない。	本製品とコンピューターを接続するケーブルが適切に接続されていることを確認してください。
	KVM スイッチのリセットが必要	セットアップされたデバイス全ての電源を切ってください。KVM スイッチの電源も切り、5秒程経過した後、再び電源を入れてください。
USB デバイスが反応しない。	USB ポートのリセットが必要。	本体リアパネルの USB ポートからデバイスの USB ケーブルを一旦抜いて接続しなおしてください。
		USB リセットホットキー(p.32 参照)を使用して、USB ポートをリセットしてください。
[Scroll Lock]キーを2度押ししてもポートが切り替わらない。	キーボードが[Scroll Lock]による起動に対応していない。	代替ホットキーセッティングモードキーに変更してください。詳細は、p.30を参照してください。

(表は次のページに続きます。)

問題	考えられる原因	解決方法
KVM ケーブルをホットプラグした後でモニターに何も表示されなくなる	グラフィックカードがケーブルのホットプラグに対応していない。	使用するデバイスの電源を全て切ってください。CS1942/CS1944 の電源を切って全ての KVM ケーブルが正しく接続されていることを確認した後、CS1942/CS1944 の電源を入れ、コンピューターの電源を入れてください。
ポートを切り替えてもモニターに何も表示されない。	モニターが新しい、またはセットアップ後に初めて使用する。	ポートをもう一度切り替えて、PC の EDID 情報がモニターに送信されるまで 2 秒以上待機してください。
	ポート切替時に PC の EDID 情報がモニターに送られない。	[d]ホットキーを使用してビデオダイナシンクをもう一度起動するか、別の PC に切り替えて CS1942/CS1944 に再接続してください。詳細は、p.33 「ビデオダイナシンク」を参照してください。
ポートを切り替えると、切り替わるまでに数秒間の遅延が発生する。	これはキーボードエミュレーションを無効にした際に発生します。	[F10]ホットキーを使用して、キーボードエミュレーションを有効にしてください。詳細は、p.31 「キーボード操作プラットフォーム」を参照してください。

工場出荷時におけるデフォルト設定

工場出荷時におけるデフォルト設定は下表の通りです。

設定	デフォルト	代替
ポート切替	[Scroll Lock] [Scroll Lock]	[Ctrl] [Ctrl]
ホットキーセッティングモードの起動	[Num Lock]+[-]	[Ctrl]+[F12]
オートスキャンのインターバル	5 秒間	1～99 秒間
キーボード操作プラットフォーム	PC 互換	Mac、Linux
マウスエミュレーション	有効	無効
マウスによるポート切替	無効	有効
電源探知機能	有効	無効
キーボードエミュレーション	有効	無効
ファームウェアアップグレードモード	無効	有効
ポート切替キー	有効	無効
ビープ音	有効	無効
キーボード言語レイアウト	英語	日本語、フランス語